

忍者キャンプ 四幕

～未来からの手紙～

2015 Fall

強き想いは
時空を超えて
その手が握るは
遙か日の空

※この物語はフィクションです



登場人物紹介

■ 風渡の里（かぜわたりのさと）

（雲の国「雲渡（くらうど）」の忍者の隠れ里）

空野 雲海（そらの うんかい）

風渡の里の忍頭であり「風渡忍者学校の校長」。里の忍たちからは、「頭（かしら）」と呼ばれている。ホントはかなり優秀な忍者のようだが、最近は里の偉いさんたちとの調整でかなり疲れ気味。

趣味は、「旅行」と「整体」。結婚をしている様子はないが、もはやそれを聞くことはタブーとなっている。

赤錆先生（あかさびせんせい）

「風渡忍者学校」の新米先生。「赤錆色（あかさびいろ）」の頭巾がトレードマークのため、「赤錆先生」と呼ばれている。本名は「備中日向（びっちゅう ひなた）」と言う。

忍者としては優秀だが、のんびりとした性格で、今は「生徒との会話がかみ合わない事」に悩んでいる。

得意分野は「諜報、策略」。趣味は、「空をながめてポケーーっとすること」。

里のおまわりさん

ずーっと平和だった風渡の里のおまわりさん。忍者キャンプの登場人物なのに「忍者」ではない。最近、パトロール中に「未来からの手紙」を見つけてきた人。

趣味は、筋トレ。年齢がいまいちよく分からないが、里の人たちは… 興味がない模様。

里の写真家さん

最近里に引っ越してきた、自称写真家。子どもたちの笑顔を追って写真を撮り続けている。ただの写真家のハズなのに、生徒たちに修行まで教えてくれるサービス精神が旺盛なイケメン。

【四幕の中で↓】

優しかった写真家さんは、実は根来（ねごろ）の忍者「里見十兵衛（さとみじゅうべえ）」だった。風渡にはスパイ活動のため潜入していた。



■ 他の忍者衆

日向衆（ひゅうがしゅう）

陽の国「三来国（さんらいず）」の忍者の隠れ里「日向の里」の忍者たち。「風渡」とは友好関係にある。かつては強い軍事力を持っていたが、つい最近まで「記憶喪失の術」がかけられていたため、現在、力が弱まっています。

根来衆（ねごろしゅう）

かつて第一次忍大戦のおり、風渡や日向と対決した忍者たち。現在は平和条約が結ばれているため対立はしていないが、風渡や日向の里の中ではいまだ敵対視する声が多く、根深い。土遁の術を得意とする。

間久間衆（まくましゅう）

間久間の国の忍。大昔の第一次忍大戦の時、風渡や日向を裏切り、敵対する根来についての経緯はあるが、もはや教科書で習うレベルでの昔の話。近年、不穏な動きを見せている。

【四幕の中で↓】

間久間の忍び頭に「幻五郎」がなっていた事が判明。間久間忍者「サキヤマ・イツサ」によると、忍び頭が変わってから、洗脳が始まったとの事。

抜け忍・幻五郎（ぬけにん・げんごろう）

元「三来国」の家老。国の家老になる前は、「日向忍者学校」の指導教官をしていた。（指導教科は、幻術・妖術など）

約10年前、国を巻き込んだ悪だくみがバレたため、逃亡。現在、その行方を知る者はいない。

【四幕の中で↓】

間久間忍び頭になっていた事が判明。近年の間久間の不穏な動きは幻五郎によるものだった。

